

特定非営利活動法人 野生動物救護の会 会報



Vol. 37

RUNNER



＊
目
次
＊

活動の現場 …2

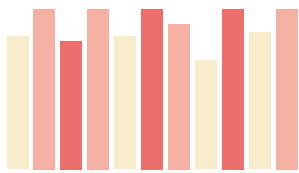
足環プロジェクト …5

スズメの計測値と年齢区分 …6

2021年度事業報告・

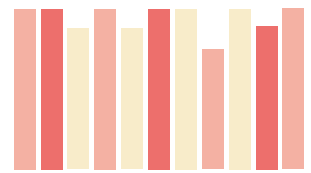
2022年度事業予定（案） ……8

インフォメーション …12



活動の現場

このコーナーでは普及啓発活動やイベントなどに参加したボランティアがその体験をもとにレポートしています。



野生動物救護の会の活動紹介と自然環境保全センター野外施設の野生鳥獣生息調査の結果報告

毎年、本厚木で開催される「さがみ自然フォーラム」で活動紹介や調査報告を行っています。今年はコロナ禍による非常事態宣言を受けて、報告会は中止となりました。そこで展示を予定していたポスターをホームページで見られるようにしました。

痕跡チームは、自然環境保全センター野外施設内に自動撮影カメラを設置して、鳥類と哺乳類の生息調査を行っています。ポスターに書かれている自動撮影カメラの設置場所をアルファベット（A～D）で野外施設の地図に示しました。

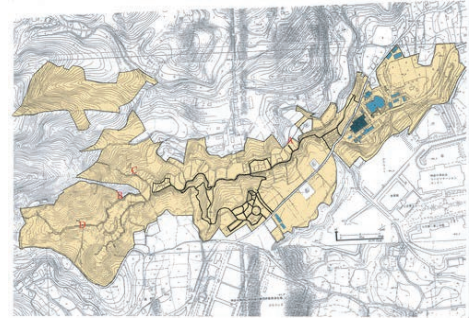
2020年度の哺乳類の調査結果を2019年度の結果と比較しました。撮影された動物種の数に変化はありませんでした。動物種ごとの撮影回数を比較すると、タヌキの撮影回数が減少していました。また時間帯ごとに集計した撮影回数の棒グラフを見ると2019年度に比べて2020年度は、昼間の時間帯（午前6時～午後5時）の撮影回数が増加していました。

2020年度の鳥類の調査結果を見ると、公開エリア内のAにおいて夜行性の鳥類（ゴイサギとミゾゴイ）が撮影されました。また、非公開エリアを流れる沢Bにおいて調査開始以来初めてオオコノハズクが撮影されました。非公開エリアの奥に位置するDでは昼間の時間帯にフクロウが複数回撮影されました。

野生動物救護の会は野生動物の生息調査活動のほかに、傷ついた野生鳥獣の救護ボランティア活動の実践、および傷病鳥獣の救護理念の普及啓発、子供たちや一般の方たちに野生動物と人間の共生を考えてもらうための教室などを開催しています。

私たちの活動に興味を持った方たちが、一緒に活動する仲間になってくださることを願っています。

遠藤順一



特定非営利活動法人 野生動物救護の会 第14回定期総会の報告

今年度の総会が2021年6月13日13時より、自然環境保全センターにて開催されました。議長に会員の三輪さんが選出され総会が進行されました。出席者と委任状の方を合わせて会員総数の60名より過半数となり総会は成立しました。

議事に入り、2020年度の事業報告、決算報告及び会計監査の報告、それに2021年度の事業予定などが提案され、満場一致で承認されました。また今年度は野生動物救護の会の役員改選ということで、理事長の渡辺優子氏と副理事長の安井啓子氏には引き続き務めていただくことになり、佐藤信敏氏が副理事長を降り、平沼亜矢子氏が新たに副理事長に就任、佐藤幸太郎氏が会計監査幹事を降りたので、神崎さつき氏が新たに就任されました。佐藤信敏様、佐藤幸太郎様今までお疲れ様でした。

H

2021年度自然環境保全センターブナ森ギャラリー展示の報告

2021年10月21日から11月27日に自然環境保全センターブナ森ギャラリーにて「神奈川県で保護された傷病野鳥の羽根標本」をテーマに展示が行われました。

H





もり・みず市民事業支援補助金R3年度中間報告

2021年10月30日、野生動物救護の会の痕跡調査チームは県の視察団を事前環境保全センターレクチャールームに迎え、令和3年度中間報告の公聴会を実施しました。

「もり・みず市民事業支援補助金」は正式名称を「水源環境保全・再生市民事業支援補助金」と言います。水源環境の保全・再生を目的とした活動にかかる経費を補助してくれる制度で、神奈川県民の方たちが負担している「水源環境保全税」などの財源によって賄われています。

公聴会では、痕跡調査チームの小林夏子さんが日頃の調査活動の様子や活動内容、SNSを活用した情報発信による効果について審査委員会の方たちに詳しく説明をしてくださいました。審査委員会の方たちからも一人一人から貴重なご意見やご感想を賜ることができ、大変有意義な会となりました。委員の皆様から頂いたアドバイスを今後の痕跡調査チームの活動に生かしていきたいと思います。

遠藤順一



秋のにぎわいフェアの報告

2021年11月23日、鶴巻温泉駅南口と北口の広場を会場に「自慢の味・人・土産を発見！秋のにぎわいフェア」が開催され、秦野市役所からの協力依頼を受けて参加した。昨年は、各イベントは新型コロナの影響で中止。野生動物救護の会としては、イベントの参加は2年ぶり。このフェアは鶴巻温泉エリアのにぎわい創出を図るため、登山客やハイカーなどの観光客が多く訪れる秋の紅葉シーズンに、鶴巻温泉エリアの魅力を発信するために企画された。会場にはパフォーマンス ステージ・各種模擬店・ジビエ料理ブース・日向石啓発ブース・秦野市ブース（鳥獣ふれあいコーナー・野生動物救護の会ブース）などが設けられた。

野生動物救護の会ブースでは、「人為的原因で傷ついた野生動物」について関心と理解を持ってもらうことを目的にパネル展示をおこなった。エデュケーションボードとして参加した小さくて可愛いオオコノハズクは、お子さんに大人気。家族連れを中心にたくさんの方が、ブースに立ち寄って下さった。スタッフは人為的原因（犬や猫に襲われたり、交通事故やガラス衝突、釣糸・釣針など）で傷ついた野生動物たちを減らすには、みんなが少しでも気を付ければよいことをパネルで説明した。また、私たちの周りにはどんな野生動物がいるか知ってもらうためにセンサーカメラで撮った動画をブース内に置いたテレビに流した。これはイベントでは初めての試み。

ジビエ料理ブースでは、他では味わえない趣向を凝らしたジビエ料理を振舞っていた。鶴巻エリアでは「ジビエの街」と銘打ち、ジビエ料理の推進を行っている。ジビエ料理は、単に野生動物を食べるという意味ではなく、そこには、人間と野生動物との共存があり、豊かな日本の農村や自然環境を守ることを目的とした取り組み、つまり鳥獣被害対策も含まれていると言われている。

鳥獣ふれあいコーナーでは、秦野市に生息する野生動物を知ってもらおうと、その剥製と頭骨標本が置か

れ自由にさわれるようになっていた。このコーナーの目的は鳥獣被害対策の啓発。近年、鳥獣により人間の生活環境の被害（農林業被害、騒音や家屋侵入など）が大変深刻な状況となっている。そこで人と鳥獣が共存するための鳥獣との関わり方を知ってもらう為に資料を配っていた。

このフェアは、「人間と野生動物との共存の在り方」についても考えさせるものでもあった。このフェアが、野生動物に興味・関心のない方も少しでも「人間と野生動物との共存の在り方」について関心と理解を持つきっかけになればいいと思います。

小野茂生



大掃除の報告

2021年12月11日、センターの大掃除が開催されました。昨年に引き続き今年もコロナ禍ならではの注意を受けてからの大掃除スタート！普段の作業では手がまわりにくいところをみんなで重点的にきれいにしました。お昼は今回も昨年同様お茶とお弁当が配られみんなでおいしくいただきました。参加されたされた皆様お疲れ様でした。次回の大掃除こそ、豚汁が食べられますように！！

ヒラヌマ



★コアホウドリが保護されました★

環境省レッドリストで「絶滅危惧ⅠB類」となっているコアホウドリ1羽が8日に神奈川県自然環境保全センターで保護されました。かなりやせて左肩を痛めていました。

コアホウドリは、7日夕方に大磯町国府本郷の馬場公園そばの路上にいるのを地域住民が発見し、同町内で動物病院を営む獣医師中山和也さんに「道路にアヒルがいる」と連絡が入りました。

中山さんは「アヒルなら近くの家から逃げ出したのだろう」と思って確認したところコアホウドリだったため、同センターに持ち込みました。中山さんは2013年にもコアホウドリを保護した経験があるそうです。

コアホウドリは性別は不明、体重は2キロと、痩せていたので同センターでアジなどの餌を食べて回復を図り、4月12日に船に乗せ相模湾から無事に放野されました。



NPO法人 野生動物救護の会もコアホウドリのためにヤリイカを2キロほど寄付させていただきました。

足環Project!!

足環プロジェクトとは

足環を付けた放鳥個体が野外で発見もしくは再捕獲等されることでその個体の生存年数、移動範囲・距離などを知る為の活動です。
詳しくは「RUNNER」vol.16 を御覧下さい。

～2021 年 4 月から足環を付けて放された鳥たち～

足環番号	種類	放鳥日	放鳥場所
O9	アオサギ	2021/4/27	川崎市
P1	トビ	2021/6/23	相模原市
P2	トビ	2022/2/26	厚木市



O9 アオサギ

(写真提供：神奈川県自然環境保全センター)

目撃情報

8 月以降に境川にて度々目撃情報が入っています。詳しくはブログをご覧ください。



P2 トビ

★こんな足環をつけた野鳥を見かけたら下記まで連絡してください★

【NPO 法人 野生動物救護の会】

Tel : 0463-75-1830 e-mail : wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp

【神奈川県自然環境保全センター・自然保護課】

Tel : 046-248-6682

鳥の詳しい情報はこちらに載せています。

(放野の光景を動画で見ることができます)

ブログ URL : <http://blog.goo.ne.jp/yaseidobutsu-kyugo>



スズメの計測値と年齢区分

令和2年度から令和4年度までに自然環境保全センターが受け入れたスズメの死亡個体について、全長、翼開長、自然翼長、尾長、跗蹠長、露出嘴峰長を計測した。全長、翼開長、自然翼長、尾長はステンレス製の定規を用いて1mm単位で測定した。跗蹠長と露出嘴峰長はノギスを用いて0.05mm単位で測定した。体重と年齢区分は神奈川県自然環境保全センターがまとめた種別救護状況一覧を参照した。体重はキッチン秤を用いて0.1g単位まで測定していた。年齢区分は巣内ヒナ、巣立ヒナ、幼羽の残る若鳥、成鳥の4区分に分けられていたが、今回の調査では幼羽の残る若鳥は成鳥としてカウントした。計測値は表1にまとめた。

表1 スズメの計測値と年齢区分 (R2～R4年度)

受付番号	体重[g]	全長[mm]	翼開長[mm]	自然翼長[mm]	尾長[mm]	体長[mm]	跗蹠長[mm]	嘴峰長[mm]	年齢区分
200035	5.4	97	155	47	28	69	14.40	10.00	巣内ヒナ
200039	8.6	70	118	36	11	59	12.50	7.00	巣内ヒナ
200063	14.7	111	164	63	40	71	18.30	9.00	成鳥
200090	11.9	80	150	51	18	62	12.80	7.70	巣立ヒナ
200093	20.0	95	179	71	0	95	17.10	12.10	成鳥
200101	5.6	46	35	8	0	46	9.40	4.80	巣内ヒナ
200113	15.9	112	135	55	44	68	17.40	11.20	巣立ヒナ
200116	19.1	119	180	67	47	72	18.30	11.40	成鳥
200130	4.9	52	34	8	0	52	8.40	5.30	巣内ヒナ
200133	14.8	89	160	58	30	59	22.05	8.55	巣立ヒナ
200134	6.9	76	74	23	9	67	11.10	6.35	巣内ヒナ
200159	20.2	100	135	62	38	62	14.65	6.60	巣立ヒナ
200171	10.7	112	120	58	47	65	12.00	10.00	巣内ヒナ
200178	3.3	51	40	12	0	51	11.30	5.30	巣内ヒナ
200182	6.0	55	58	19	6	49	12.10	7.50	巣内ヒナ
210079	7.3	49	38	9	0	49	9.00	4.20	巣内ヒナ
210122	10.8	80	140	51	30	50	18.00	7.80	巣立ヒナ
220003	20.1	135	210	69	56	79	17.00	13.00	成鳥
羽根がスれていたんでいたり、欠損がある									

羽の状態が良かった個体の初列風切羽、次列風切羽、三列風切羽、尾羽の本数を確認した。初列風切羽は9枚、次列風切羽は6枚、三列風切羽は3枚、尾羽は12枚であった(図1)。表1の背景色付きの値は、羽がいたんでいるか欠損していることを示す。



図1 左は200159の右翼。右は鞘が残っている200063の尾羽。

自然環境保全センターでは救護個体の年齢区分を受入れ時、または後日に獣医師の判断で決めている。今回の計測調査では年齢区分と体重の関係、および年齢区分と体長の関係を比較した。体長は全長から尾長を引いて求めた。比較に全長や翼開長を用いなかったのは、羽がいたんでいたり、伸展中であったり、十分伸びていても鞘が残っている場合があり、比較に影響すると考えたからである。表2に年齢区分ごとの体長と体重の平均値をまとめた。

表2 年齢区分ごとの平均体長と平均体重

年齢区分	体長の平均値[mm]	体重の平均値[g]
巢内ヒナ (n=9)	56	6.5
巢立ヒナ (n=4)	60	14.7
成鳥 (n=4)	79	18.5

平均体長および平均体重は成長するのにともない増加していた。この結果は体長と体重の計測値がスズメの年齢区分を決定する目安になることを示している。そのように仮定して再度表1を確認すると例外が多数あることがわかる。例えば受付番号200063は成鳥に区分されているが、体重は14.7gしかなく巢立ヒナの平均体重に近い。しかし体長は71mmあり成鳥の平均体長に近い（図2左）。また200159は巢立ヒナに区分されているが体重は20.2gあり成鳥の平均体重を上回っている。しかし体長は62mmであり巢立ヒナの平均体長に近い値である（図2右）。巢内ヒナに関して言えば仮定から外れている計測値がいくつもある。今後さらにデータを蓄積する必要がある。

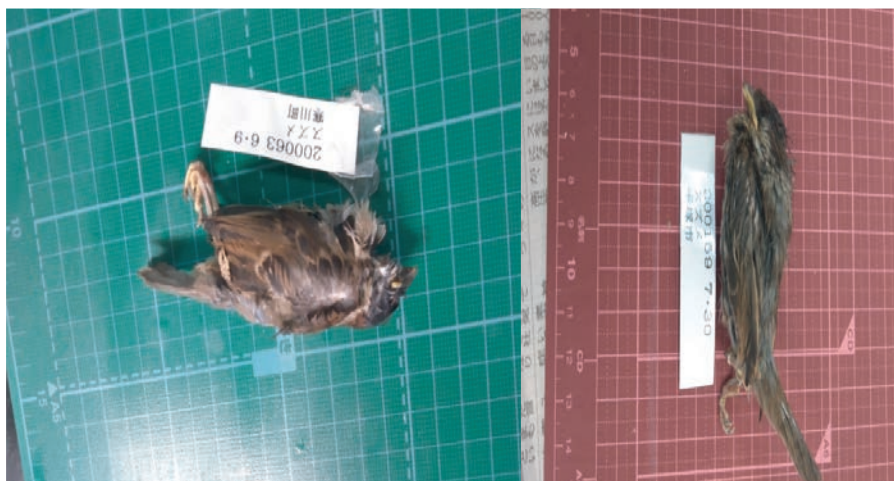
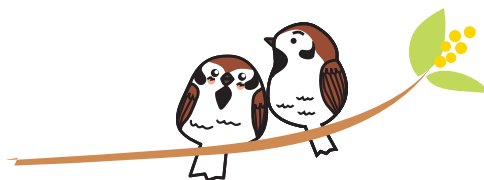


図2 嘴の色味を比較すると左の個体の方が黄色の部分が少ない。



2021 年度事業報告

2022 年度事業予定(案)

本年も 2022 年 4 月より新しい年度がスタートしました。残念ながらまだまだ予断を許さない新型コロナウイルス蔓延の影響により、このページでご報告できる昨年度の活動の結果は寂しいものとなってしまいました。とりわけ人を集めて行うイベント等はほとんど開催が見送られ、救護の会も参加することができませんでした。また、夏休みや春休みに行ってきた体験教室なども開催することができませんでした。自然環境保全センターと共に長年続けてきたこの体験教室は、次世代を担う子どもたちと共に野生動物や地球環境について学ぶ貴重な機会ですので、開催できなかったことは残念でなりません。

しかしながらようやく少しずつではありますが、社会活動再開の兆しが見えてきました。

今年度は社会情勢を見極め、皆様の健康の安全を考慮しつつ出来るだけイベント等の活動を再開したいと考えています。また、長年継続して行っている衝突調査、痕跡調査や樹洞性哺乳類・鳥類調査などの調査活動は続けております。もう少し状況が落ち着いた際には皆様にも参加していただける場をご用意する予定ですので、その際には是非ご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

6 月に予定されている定期総会では、昨年度の総括や今年度の事業内容についてご意見をいただきたく、ここに前年度の活動報告と今年度の活動予定を掲載します。皆さまには是非目を通していただき、ご検討をお願い致します。

このような状況ですので、くれぐれも皆さまご自愛ください。

2021 年度 NPO 法人野生動物救護の会 事業報告

1. 傷病鳥獣救護の直接的事業

傷病鳥獣の救護ボランティアの推奨	通年	自然環境保全センター
M プロジェクト（猛禽類のリハビリ）	通年	プロジェクト参加者自宅

2. 救護ボランティアを養成する事業

野生動物救護ボランティア講習会	中止	
野生動物救護ボランティア講習会修了式	中止	

3. 主に会員を対象とした啓発事業

探鳥会	中止	
野生動物痕跡調査講習会	中止	
スキルアップ勉強会	中止	

4. 主に市民を対象とした啓発事業

企画展示 (ブナの森ギャラリー)	10/17～11/26	自然環境保全センター
誤認保護防止のためのチラシ配布	中止	
各種イベントへの参加 よこすか動物フェスティバル、 秦野市民まつり 動物フェスティバル・神奈川 秋のにぎわいフェア さがみ自然フォーラム (展示参加 web 開催)	中止 中止 中止 11/23 2/12～5/15	鶴巻温泉駅南口ロータリー アミュー厚木
各種要請による講演	要請無	
環境教育 学校からの要請による環境教育 夏休み子ども体験教室 (野生動物を学ぶ) 春休み子ども体験教室 (わくわく生き物探検隊)	要請無 中止 中止	

5. 情報発信の事業

会報誌RUNNER (VOL36) の発行	5/16	厚木市サポートセンター
ホームページの運営 会員への情報発信	通年	野生動物救護の会事務局

6. 調査・観察的な事業

秦野市立図書館衝突調査	4/30 5/28 6/25 7/30 8/27 9/24 10/29 12/3 12/24 1/28 2/25 3/25	秦野市立図書館
羽根標本等の標本作成	通年	自然環境保全センター
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター
野生動物痕跡調査	通年	自然環境保全センター
足環プロジェクト	通年	自然環境保全センター

7. 関係団体との協働的事业

丹沢大山ボランティアネットワーク総会	書面開催	
丹沢大山ボランティアネットワーク講演会	中止	
丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会		
傷病鳥獣保護連絡協議会	3/23	
自然発見クラブ	中止	

8. 運営的事业

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	6/13	自然環境保全センター
救護の会の事務的管理 (名簿・会費・物品など)	通年	野生動物救護の会事務局
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター
傷病舎大掃除	12/11	自然環境保全センター

9. 各種助成金による事業

もり・みず助成金による事業・調査	
丹沢みどりを育むつどい助成金による事業・調査	



2022 年度 NPO 法人野生動物救護の会 事業予定(案)

1. 傷病鳥獣救護の直接的事業

傷病鳥獣の救護ボランティアの推奨	通年	自然環境保全センター
Mプロジェクト（猛禽類のリハビリ）	通年	プロジェクト参加者自宅

2. 救護ボランティアを養成する事業

野生動物救護ボランティア講習会	検討中	自然環境保全センター
野生動物救護ボランティア講習会修了式	検討中	自然環境保全センター

3. 主に会員を対象とした啓発事業

探鳥会	年数回	近隣各所
野生動物痕跡調査講習会	年数回	自然環境保全センター
スキルアップ勉強会	未定	自然環境保全センター

4. 主に市民を対象とした啓発事業

企画展示	9月～10月	自然環境保全センター
誤認保護防止のためのチラシ配布	未定	伊勢原市立総合運動公園
よこすか動物フェスティバルへの参加	未定	
秦野市民まつりへの参加	未定	
動物フェスティバル・かながわへの参加	10月23日	
さがみ自然フォーラムへの参加	2月頃	
その他のイベントへの参加	随時要請あれば	
各種要請による講演	随時	各会場
環境教育		
学校からの要請による環境教育	随時	各学校等
夏休み子ども体験教室（野生動物を学ぶ）	未定	自然環境保全センター
春休み子ども体験教室（わくわく生き物探検隊）	未定	自然環境保全センター

5. 情報発信の事業

会報誌RUNNERの発行	年数回	厚木市サポートセンター
ホームページの運営 会員への情報発信	通年	野生動物救護の会事務局

6. 調査・観測的な事業

秦野市立図書館衝突調査	月1回程度	秦野市立図書館
羽根標本等の標本作成	年数回	自然環境保全センター
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター
野生動物痕跡調査	通年	自然環境保全センター
足環プロジェクト	通年	自然環境保全センター

7. 関係団体との協働的事业

丹沢大山ボランティアネットワーク総会	書面開催	自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク講演会	未定	自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会	年数回	自然環境保全センター
傷病鳥獣保護連絡協議会	未定	
自然発見クラブ 野鳥の羽根標本づくり	8/20	自然環境保全センター
野鳥の巣箱づくり	2/18	自然環境保全センター

8. 運営的事业

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	6月予定	
救護の会の事務的管理（名簿・会費・物品など）	通年	野生動物救護の会事務局
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター
傷病舎大掃除	12月	自然環境保全センター

9. 各種助成金による事業

サントリー世界愛鳥基金助成金による絵本作成事業 「猫により傷つく野鳥を減らすための普及啓発活動用」	
--	--

インフォメーション

定期総会

◆第15回 NPO 法人 野生動物救護の会 定期総会

▽日時: 6月25日(土) 場所: 厚木市社会福祉センター 4F 研修室

イベント

◆自然発見クラブ

▽野鳥の羽根標本 日時: 2022年8月20日(土) 場所: 自然環境保全センター

▽野鳥の巣箱作り 日時: 2023年2月18日(土) 場所: 自然環境保全センター

◆動物フェスティバルかながわ 日時: 2022年10月23日(日) 場所: ヴェルニー公園

◆探鳥会 数回開催予定

※昨年度に引き続き、今年度のイベントも現段階では開催が未定のものが多数です。
今後、開催及び救護の会の参加の有無が決定しましたら 都度お知らせしますので、
ホームページ等でご確認ください。

衝突調査

◆秦野市立図書館衝突調査

▽日時 毎月最終金曜日 → 今後の調査日は 2022年5月27日、6月24日、7月29日

▽場所 秦野市立図書館

☆野生動物救護の会「バードストライク研究会」では窓ガラスへの野鳥の衝突調査と一緒に
行ってくれる方を随時募集しています。興味のある方は事務局までご連絡を！

絵本を作成します

◆「猫により傷つく野鳥を減らすための普及啓発活動」のために

サントリー世界愛鳥基金助成金を受け、オリジナル絵本を作成します。

完成をお楽しみに！



“救護の会 ブログ” 更新中です！

◆野生動物救護の会の活動の様子を楽しくご紹介！

日常のボランティア活動や、猛禽類の訓練風景(M project)、各種イベントのお知らせや
報告などなど、随時更新しています。救護の会 HP トップページ
「救護の会ブログ始めました！」のバナーをクリックしてご覧下さい♪

アドレスはコチラ → <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/index.html>



* 詳細は当会ホームページをご覧ください *

☆☆会員へのお誘い☆☆

当会は、設立趣旨にご賛同頂きました皆様方の会費によって運営されております。

どなたでもご参加いただけます

★一般会員: 年会費 2,000 円

★学生会員: 年会費 1,000 円

私たちの活動を支えて下さる賛助会員も同時に募集しています

★賛助会員: 年会費 法人一口 5,000 円/個人一口 3,000 円 一口以上

【振込先】

ゆうちょ銀行振替口座 : 00270-0-47040

名義 : 特定非営利活動法人 野生動物救護の会

発行月: 2022年5月 発行: 特定非営利活動法人 野生動物救護の会 電話: 0463-75-1830

〒259-1306 神奈川県秦野市戸川 1086 番地の 4 ホームページ: <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>

編集者 平沼亜矢子 森紀美子 神崎さつき